

様式第 20 の 2 (第 48 条の 3 関係)

実 務 経 験 証 明 書

氏 名	○○○○ (平成○○年 ○ 月 ○ 日生)			
取り扱った危険物	類 別	第 4 類	品 名	第 1 石油類 (非水溶性) 第 2 石油類 (非水溶性) 第 3 石油類 (非水溶性)
取り扱った期間	令和○○年 ○ 月 ○ 日 から 令和○○年 ○ 月 ○ 日まで (○ 年 ○ 月)			
製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所 ・ 貯蔵所 ・ <u>取扱所</u>			
<p>上記のとおり相違ないことを証明します。</p> <p>証明年月日 令和○○年 ○ 月 ○ 日</p> <p>事業所名 ○○株式会社</p> <p>所在地 島根県○○市・郡○○町○○○○番地○</p> <p>証 明 者 職 名 代表取締役</p> <p>氏 名 ○○○○</p> <p>電話番号 ○○○○ (○○) ○○○○</p>				

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

記載要領

〔実務経験証明書記載要領〕

1. 実務経験は、危険物製造所等での経験に限られるものであるが、免状の交付を受けた後における実務経験のみに限られるものではない。
2. 期間は、6ヵ月以上でなければならない。
3. 6ヵ月以上の期間のとらえ方は、ブランクの期間があっても、設置者の異なる数か所の危険物製造所等であっても、合計して6ヵ月以上あれば差し支えない。なお、後者の場合には、実務経験証明書は複数となる。